

年次継続監視評価表(令和5年度)

1 基礎情報

対 象 施 設	道の駅「庄和」
施設の設置目的	農産物及び地域特産品の紹介、販売並びに地域情報の発信を行い、地域間の交流を促すとともに、産業の振興及び地域の活性化を図る
施設所管部署	観光振興課
指 定 管 理 者	庄和商工会
指 定 期 間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
指定管理業務内容	(1)施設、附属設備及び備品の維持管理に関すること (2)施設の広報、宣伝及び情報提供に関すること (3)農産物及び特産品等の調査、研究及び開発並びに展示、販売及び食体験に関すること

2 施設利用状況の推移

区 分	過去3年間の平均	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人数(件数)	559,170人	521,288人	511,920人	491,464人	492,221人	
対前年度比	-	▲27,207人	▲9,368人	▲20,456人	757人	

3 施設利用者の満足度(利用者アンケート結果)

区 分	回答者数	満足度				
		施設・設備管理	接客対応	教室・イベント等	その他	全体
上半期	209人	98.1%	99.4%	100.0%	83.8%	99.0%
下半期	209人	97.5%	98.0%	100.0%	84.1%	99.5%
利用者の主な意見・要望等	・野菜が安く、とても新鮮 ・窓口や本館スタッフの対応が良い ・野菜や果物の種類を多くしてほしい					

4 主な自主事業実績

自主事業名	内 容	参加者数等
春日部親善大使「あえか」ライブ	春日部親善大使の「あえか」さんによるライブ	1000人
わくわく体験イベント	春日部工業高校との共催イベント	1000人
交通安全フェア	春日部警察署との協力のもと、利用者に交通安全呼び掛け	500人

5 主な修繕実績

修繕箇所・修繕名等	内 容	金 額
藤棚の植樹及び棚の設置	旧日除け設備を活用して藤棚を設置した。	682,550円
喫煙所の移設工事	受動喫煙の対策として、既存喫煙所を一か所に集約した。	583,000円
外灯灯具取換工事	老朽化に伴い、構内の外灯設備を交換した。	543,950円

6 収支状況

(単位:円)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合 計
収入額 A	95,640,648	96,028,169	94,908,382	99,872,382		386,449,581
内、指定管理料 a	0	0	0	0		0
内、利用料金収入	95,167,625	93,488,789	89,138,450	98,758,901		376,553,765
支出額 B	90,067,909	92,592,253	93,993,020	97,598,925		374,252,107
内、人件費	25,876,145	27,331,573	31,235,302	33,020,333		117,463,353
収支額 A-B	5,572,739	3,435,916	915,362	2,273,457		12,197,474
対前年度比	-	▲ 2,136,823	▲ 2,520,554	1,358,095		-
想定事業費 C	101,691,764	102,760,680	100,257,718	102,078,592		406,788,754
削減額 C-a	101,691,764	102,760,680	100,257,718	102,078,592		406,788,754
特記事項 (増減額の説明等)	想定事業費については、支出額総額から人件費分を差し引き、従事職員数(5人)に750万円を乗じて加算している。					

※「想定事業費」:市が直営で管理した場合に想定される事業費

7 四半期継続監視評価結果

区分	評価結果	特記事項(不適となった事項の有無、指導事項、改善状況 等)
第1四半期	A	施設来館者数が、計画を下回っている。安定した集客を確保するために、他の道の駅の視察や道の駅連絡会との情報共有を行い、来館者数を増加させるための施策を検討すること。
第2四半期	A	自主事業の開始・変更・中止を行う際には、協議書の提出を遺漏なく行うこと。
第3四半期	A	施設来館者数の確保のため、外郭放水路等の市内観光施設から来館者を取り込める企画を検討すること。
第4四半期	A	今年度開催した庄内領悪水路沿い桜並木と絡めた「桜フェスタ」をはじめ、周辺観光名所とタイアップしたイベントは継続して実施検討すること。

※評価結果の凡例

A：適切な指定管理業務が実施されている。

B：適切な指定管理業務が実施されておらず、さらなる努力を要する。

C：全体的に適切な指定管理業務が実施されておらず、取組を見直す。

8 年間を通じた個別事項の評価

No.	評価項目	主な内容	適
1	住民の平等な利用が確保されているか。	事業等の内容に偏りがないか。	○
		施設の利用が一部の利用者に偏った計画・実施となっていないか。	○
2	施設の効用を最大限に発揮させているか。	サービス向上のための適切な方策が実施されているか。	○
		受付等業務従事者の接客態度・対応は適切か。	○
		パンフレットの整備等、積極的な利用案内が行われているか。	○
		自主事業は適正・効果的な実施となっているか。	○
3	施設の適切な管理運営が計画的に実施されているか。	事業計画書で提案された内容が適切に実施されているか。	○
		書類等文書の作成・管理・保存は適正に行われているか。	×
		施設の安全・衛生管理、危機管理、災害時等緊急時の対応は適切か。	○
		適切な計画の下、効果的な修繕・保守点検が実施されているか。	○
4	管理に係る経費の縮減が図られているか。	事業収支は事業計画書による計画と乖離していないか。	○
		指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われているか。	○
		サービス水準を確保した効果的な経費縮減に取り組んでいるか。	○
		会計処理業務が適切に行われているか。	○
5	安定的な運営体制が確保されているか。	職員体制は十分か。	○
		職員の育成指導、研修体制は十分か。	○
		適正な雇用・労働条件が確保されているか。	○
6	その他	個人情報に関する情報の管理体制は十分か。	○
		地域経済の活性化に繋がる市内事業者との連携が図られているか。	○
		市との適正な信頼関係や協定書等に基づく協力関係が築けているか。	○
適(○)の数		19 / 20	

9 総合評価

住民サービスの向上や経費の節減について
子ども食堂への農産物無償提供、全国道の駅フードドライブ等フードロスに関連した取組を実施している。24時間利用可能なおむつ自販機の導入等、子育て世代を意識したサービスを提供している。本年度新たに実施した桜フェスタをはじめ、様々なイベントを定期開催している。
指導に対する対応・改善状況について
来館者数増加策として、視察等により他道の駅の動向を調査し、従来の屋外店舗形式からキッチンカー出店形式へと運営形態の変更を行った。その結果、現時点での来館者数は回復傾向にある。
その他(上記以外の制度導入による効果、業務状況、課題、今後の方向性等)
近隣市にて新規開設が控えており、施設運営による競争力向上のため、市内の観光施設から観光客を呼び込む方策を検討する等、安定的な集客が見込める事業展開が必要である。 また、道の駅第3ステージとして求められる、インバウンド、防災、子育て等の機能充実を図る必要がある。

令和5年度の評価結果

A